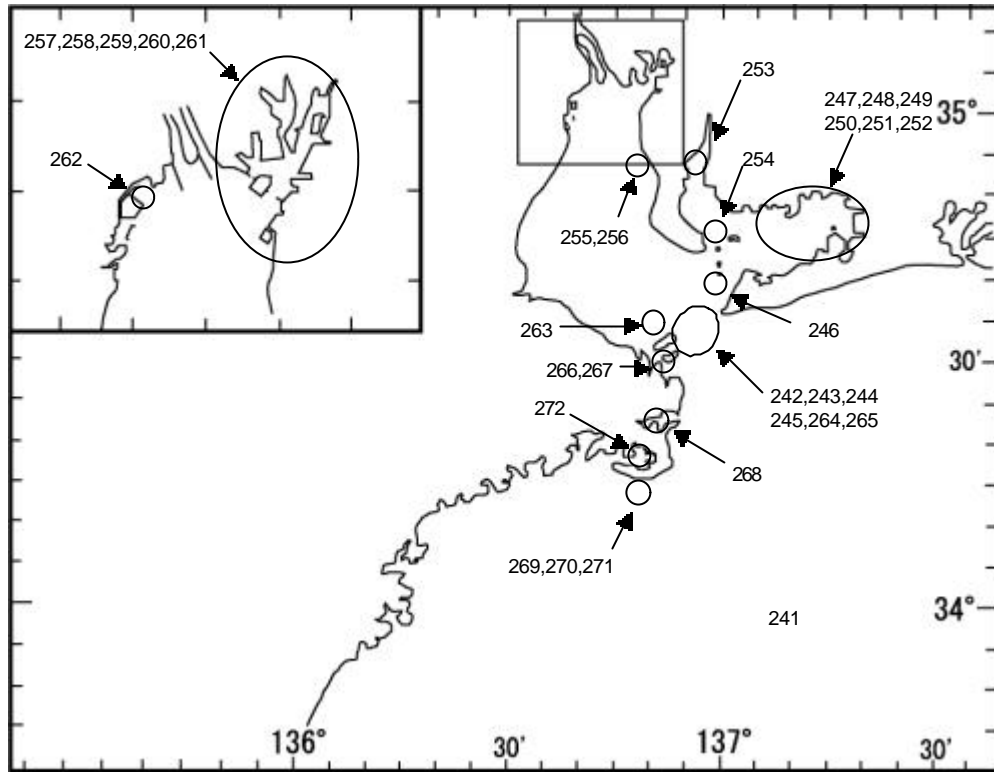


四管区水路通報第 1 2 号

平成 1 4 年 3 月 2 7 日

第四管区海上保安本部

第 2 4 1 項	本州南岸	遠州灘及熊野灘	救難訓練
第 2 4 2 項	本州南岸	伊良湖水道航路、神島南方	水深減少
第 2 4 3 項	本州南岸	伊良湖水道航路、神島南方	浅所存在
第 2 4 4 項	本州南岸	伊良湖水道航路、神島付近	水深減少
第 2 4 5 項	本州南岸	伊良湖水道航路、神島付近	浅所存在
第 2 4 6 項	本州南岸	中山水道及付近	観測機器設置等
第 2 4 7 項	本州南岸	三河港南部	防波堤改修工事
第 2 4 8 項	本州南岸	三河港北部	養浜工事
第 2 4 9 項	本州南岸	三河港北部	ヨットレース
第 2 5 0 項	本州南岸	渥美湾、知柄漁港	防波堤延長工事等期間延長
第 2 5 1 項	本州南岸	渥美湾、東幡豆港付近	覆砂作業
第 2 5 2 項	本州南岸	渥美湾、東幡豆港付近	環境調査
第 2 5 3 項	本州南岸	衣浦港	ヨット帆走訓練
第 2 5 4 項	本州南岸	師崎水道、日間賀島北方	覆砂作業
第 2 5 5 項	本州南岸	常滑港付近	航行制限
第 2 5 6 項	本州南岸	常滑港	航泊禁止
第 2 5 7 項	名古屋港	東航路	掘下げ作業
第 2 5 8 項	名古屋港	第 1 区	航泊禁止
第 2 5 9 項	名古屋港	第 1 区	ヨットセーリング訓練等
第 2 6 0 項	名古屋港	第 4 区	水路測量
第 2 6 1 項	名古屋港	第 5 区	起重機船作業
第 2 6 2 項	本州南岸	四日市港、第 3 区	掘下げ作業等
第 2 6 3 項	伊勢湾	答志島、舟越漁港	岸壁築造工事
第 2 6 4 項	伊勢湾	答志島東方	水深減少等
第 2 6 5 項	本州南岸	伊良湖水道 至 菅島	水深減少等
第 2 6 6 項	本州南岸	鳥羽港	護岸改修工事期間延長
第 2 6 7 項	本州南岸	鳥羽港	小型船舶操縦訓練
第 2 6 8 項	本州南岸	的矢港	起重機船作業
第 2 6 9 項	本州南岸	布施田水道、和具漁港南方	魚礁設置
第 2 7 0 項	本州南岸	布施田水道、和具漁港	防波堤改修工事
第 2 7 1 項	本州南岸	布施田水道、和具漁港	防波堤改修工事
第 2 7 2 項	本州南岸	英虞湾	環境調査
第 2 7 3 項	日本周辺	海図記載の測地系に関する記事について	



14年241項 本州南岸 - 遠州灘及熊野灘 救難訓練
 自衛隊航空機により、照明弾及びマリンマーカ―等を投下して洋上救難訓練が実施される。

期 間 平成14年4月1日～30日までの土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日0800～2100
 区 域 下記6地点を結ぶ線により囲まれる区域

[日本測地系]		[世界測地系 WGS-84]	
(1)	34-38N 137-30E	34-38N 137-30E	
(2)	34-38N 138-00E	34-38N 138-00E	
(3)	34-25N 138-30E	34-25N 138-30E	
(4)	32-40N 138-30E	32-40N 138-30E	
(5)	32-40N 136-10E	32-40N 136-10E	
(6)	33-47N 136-10E	33-47N 136-10E	

海 図 W 6 1 B
 出 所 航空自衛隊浜松救難隊

14年242項 本州南岸 - 伊良湖水道航路、神島南方 水深減少
 最近の測量によると下記区域の水深は海図図載水深より減少している。

区 域 1 下記6地点により囲まれる区域は海図図載水深より最大で2.4m減少している。

[日本測地系]		[世界測地系 WGS-84]	
(1)	34-31-07N 137-00-02E	34-31-19N 136-59-51E	
(2)	34-30-47N 136-59-48E	34-30-59N 136-59-37E	
(3)	34-30-40N 136-59-36E	34-30-52N 136-59-25E	
(4)	34-30-45N 136-59-32E	34-30-57N 136-59-21E	
(5)	34-30-59N 136-59-41E	34-31-11N 136-59-30E	

- (6) 34-31-09N 136-59-53E 34-31-21N 136-59-42E
- 2 下記2地点を結ぶ線上付近は海図図載水深より最大で1.9m減少している。
- (7) 34-30-18N 136-59-36E 34-30-30N 136-59-25E
- (8) 34-30-07N 136-59-39E 34-30-19N 136-59-28E
- 3 下記3地点を結ぶ線上付近は海図図載水深より最大で2.5m減少している。
- (9) 34-31-14N 136-58-46E 34-31-26N 136-58-35E
- (10) 34-31-10N 136-58-51E 34-31-22N 136-58-40E
- (11) 34-31-04N 136-58-50E 34-31-16N 136-58-39E
- 4 下記4地点を結ぶ線上付近は海図図載水深より最大で11m減少している。
- (12) 34-30-10N 136-58-46E 34-30-22N 136-58-35E
- (13) 34-30-07N 136-59-02E 34-30-19N 136-58-51E

海 図 W 1 0 6 4 - W 1 0 5 3 - W 1 0 5 1
出 所 四本部水路部

1 4 年 2 4 3 項 本州南岸 - 伊良湖水道航路、神島南方 浅所存在
最近の測量によると下記地点に浅所が存在する。

位 置 下記6地点

	[日本測地系]		[世界測地系 WGS-84]		水深
(1)	34-30-39N	136-59-18E	34-30-51N	136-59-07E	18.3m
(2)	34-30-46N	136-58-51E	34-30-58N	136-58-40E	22m
(3)	34-30-32N	136-58-49E	34-30-44N	136-58-38E	23m
(4)	34-30-09N	136-59-23E	34-30-21N	136-59-12E	15.8m
(5)	34-30-19N	137-00-03E	34-30-31N	136-59-52E	11.7m
(6)	34-29-54N	136-59-50E	34-30-06N	136-59-39E	13.1m

海 図 W 1 0 6 4 - W 1 0 5 3 - W 1 0 5 1
出 所 四本部水路部

1 4 年 2 4 4 項 本州南岸 - 伊良湖水道航路、神島付近 水深減少
最近の測量によると下記区域の水深は海図図載水深より減少している。

区 域 1 下記3地点により囲まれる区域は海図図載水深より最大で8.9m減少している。

	[日本測地系]		[世界測地系 WGS-84]	
(1)	34-33-05N	136-59-20E	34-33-17N	136-59-09E
(2)	34-33-08N	136-59-11E	34-33-20N	136-59-00E
(3)	34-33-10N	136-59-12E	34-33-22N	136-59-01E

2 下記5地点により囲まれる区域は海図図載水深より最大で7m減少している。

(4)	34-32-50N	137-00-04E	34-33-02N	136-59-53E
(5)	34-32-14N	136-59-36E	34-32-26N	136-59-25E
(6)	34-32-18N	136-59-30E	34-32-30N	136-59-19E
(7)	34-32-22N	136-59-29E	34-32-34N	136-59-18E
(8)	34-32-52N	136-59-33E	34-33-04N	136-59-22E

3 下記10地点により囲まれる区域は海図図載水深より最大で6.5m減少している。

(9)	34-32-12N	136-59-32E	34-32-24N	136-59-21E
(10)	34-31-53N	136-59-18E	34-32-05N	136-59-07E
(11)	34-31-35N	136-59-25E	34-31-47N	136-59-14E
(12)	34-31-15N	136-59-38E	34-31-27N	136-59-27E

(13)	34-31-03N	136-59-28E	34-31-15N	136-59-17E
(14)	34-31-04N	136-59-15E	34-31-16N	136-59-04E
(15)	34-31-12N	136-59-12E	34-31-24N	136-59-01E
(16)	34-31-27N	136-59-18E	34-31-39N	136-59-07E
(17)	34-31-42N	136-58-44E	34-31-54N	136-58-33E
(18)	34-32-12N	136-58-52E	34-32-24N	136-58-41E

海 図 W 1 0 6 4 - W 1 0 5 3 - W 1 0 5 1
出 所 四本部水路部

1 4 年 2 4 5 項 本州南岸 - 伊良湖水道航路、神島付近 浅所存在
最近の測量によると下記地点に浅所が存在する。

位 置 下記9地点

	[日本測地系]		[世界測地系 WGS-84]		水深
(1)	34-33-26N	136-59-22E	34-33-38N	136-59-11E	14.6m
(2)	34-33-30N	136-59-34E	34-33-42N	136-59-23E	13.3m
(3)	34-33-13N	136-59-22E	34-33-25N	136-59-11E	17.8m
(4)	34-33-11N	136-59-47E	34-33-23N	136-59-36E	16.6m
(5)	34-33-07N	136-59-53E	34-33-19N	136-59-42E	19.2m
(6)	34-33-01N	136-59-35E	34-33-13N	136-59-24E	9.7m
(7)	34-32-57N	136-59-28E	34-33-09N	136-59-17E	8.3m
(8)	34-32-48N	136-58-41E	34-33-00N	136-58-30E	5.6m
(9)	34-32-13N	136-58-40E	34-32-25N	136-58-29E	7.1m

海 図 W 1 0 6 4 - W 1 0 5 3 - W 1 0 5 1
出 所 四本部水路部

1 4 年 2 4 6 項 本州南岸 - 中山水道及付近 観測機器設置等
下記地点で観測機器の設置及び水質調査が実施される。

期 間 平成14年4月1日～9月15日(内26日間)までの日出～日没

位 置 (観測機器設置地点)下記2地点

	[日本測地系]		[世界測地系 WGS-84]	
(1)	34-39-06N	137-00-23E	34-39-18N	137-00-12E
(2)	34-39-14N	137-00-51E	34-39-26N	137-00-40E
(水質調査)下記19地点				
(3)	34-38-08N	137-00-12E	34-38-20N	137-00-01E
(4)	34-38-12N	137-00-39E	34-38-24N	137-00-28E
(5)	34-37-51N	137-00-26E	34-38-03N	137-00-15E
(6)	34-37-47N	136-59-58E	34-37-59N	136-59-47E
(7)	34-37-57N	136-59-51E	34-38-09N	136-59-40E
(8)	34-37-58N	137-00-15E	34-38-10N	137-00-04E
(9)	34-37-39N	137-00-06E	34-37-51N	136-59-55E
(10)	34-37-38N	136-59-42E	34-37-50N	136-59-31E
(11)	34-38-42N	136-57-43E	34-38-54N	136-57-32E
(12)	34-37-16N	137-01-30E	34-37-28N	137-01-19E
(13)	34-39-22N	137-00-02E	34-39-34N	136-59-51E
(14)	34-39-06N	137-00-23E	34-39-18N	137-00-12E

(15)	34-38-50N	137-00-45E	34-39-02N	137-00-34E
(16)	34-38-33N	137-01-09E	34-38-45N	137-00-58E
(17)	34-38-16N	137-01-34E	34-38-28N	137-01-23E
(18)	34-36-23N	137-00-45E	34-36-35N	137-00-34E
(19)	34-37-07N	137-00-04E	34-37-19N	136-59-53E
(20)	34-36-39N	137-00-00E	34-36-51N	136-59-49E
(21)	34-36-20N	136-59-51E	34-36-32N	136-59-40E

標識 観測機器設置地点には浮標及び旗を設置する。
備考 水質調査地点(3)～(6)は4月～6月中旬、(7)～(10)は6月中旬～8月、その他の地点は1月～8月まで実施する。
海図 W1052 - W1053 - W1051
出所 名古屋海上保安部

14年247項 本州南岸 - 三河港南部 防波堤改修工事

神野北防波堤南端で防波堤改修工事が実施される。

期間 平成14年3月29日～4月15日までの日出～日没

区域 下記4地点を結ぶ線及び陸岸により囲まれる区域

	[日本測地系]		[世界測地系 WGS-84]	
(1)	34-44-03.8N	137-16-26.6E	34-44-15.6N	137-16-15.8E
(2)	34-44-03.0N	137-16-27.3E	34-44-14.8N	137-16-16.5E
(3)	34-44-03.7N	137-16-28.6E	34-44-15.5N	137-16-17.8E
(4)	34-44-04.5N	137-16-27.9E	34-44-16.3N	137-16-17.1E

標識 作業区域には黄灯付浮標を設置する。

海図 W1057B

出所 三河港長

14年248項 本州南岸 - 三河港北部 養浜工事

下記区域で養浜工事が実施される。

期間 平成14年3月27日～5月20日までの日出～日没

区域 下記4地点を結ぶ線及び陸岸により囲まれる区域

	[日本測地系]		[世界測地系 WGS-84]	
(1)	34-47-58.6N	137-16-26.3E	34-48-10.4N	137-16-15.5E
(2)	34-48-02.7N	137-16-50.0E	34-48-14.5N	137-16-39.2E
(3)	34-47-50.0N	137-16-50.2E	34-48-01.8N	137-16-39.4E
(4)	34-47-50.0N	137-16-26.0E	34-48-01.8N	137-16-15.2E

標識 作業区域には黄灯付浮標と赤旗付竹竿を設置する。

備考 警戒船を配備する。

海図 W1057A

出所 三河港長

14年249項 本州南岸 - 三河港北部 ヨットレース

下記区域でヨットレースが実施される。

期間 平成14年4月6日,7日,21日の日出～日没

区 域 下記位置を中心とする半径1000mの円内
[日本測地系] [世界測地系 WGS-84]
(1) 34-47-21N 137-15-31E 34-47-33N 137-15-20E
備 考 警戒船を配備する。
海 図 W 1 0 5 7 A - W 1 0 5 2
出 所 三河港長

1 4 年 2 5 0 項 本州南岸 - 渥美湾、知柄漁港 防波堤延長工事等期間延長
(四管区水路通報 14年 6号 116項 関連)

下記区域での防波堤延長及び捨石投入作業は期間を延長して実施される。

期 間 平成14年4月1日～6月28日までの0730～1700

区 域 1 (防波堤延長工事)

下記4地点により囲まれる区域

	[日本測地系]	[世界測地系 WGS-84]
(1)	34-46-42.2N 137-10-33.2E	34-46-54.0N 137-10-22.5E
(2)	34-46-37.4N 137-10-34.2E	34-46-49.2N 137-10-23.5E
(3)	34-46-36.5N 137-10-28.0E	34-46-48.3N 137-10-17.3E
(4)	34-46-41.3N 137-10-27.0E	34-46-53.1N 137-10-16.3E

2 (土捨作業)

下記4地点により囲まれる区域

(5)	34-46-55.0N 137-10-38.4E	34-47-06.8N 137-10-27.7E
(6)	34-46-50.0N 137-10-40.0E	34-47-01.8N 137-10-29.3E
(7)	34-46-49.2N 137-10-37.1E	34-47-01.0N 137-10-26.4E
(8)	34-46-53.9N 137-10-34.9E	34-47-05.7N 137-10-24.2E

標 識 作業区域には赤旗及び黄灯付浮標を設置する。

備 考 潜水作業を伴う。

海 図 W 1 4 3 5

出 所 蒲郡海上保安署

1 4 年 2 5 1 項 本州南岸 - 渥美湾、東幡豆港付近 覆砂作業

下記区域で覆砂作業が実施されている。

期 間 平成14年6月28日までの日出～日没

区 域 下記4地点により囲まれる区域

	[日本測地系]	[世界測地系 WGS-84]
(1)	34-46-54.3N 137-10-07.5E	34-47-06.1N 137-09-56.8E
(2)	34-46-27.8N 137-10-07.5E	34-46-39.6N 137-09-56.8E
(3)	34-46-27.8N 137-10-19.3E	34-46-39.6N 137-10-08.6E
(4)	34-46-54.3N 137-10-19.3E	34-47-06.1N 137-10-08.6E

標 識 作業区域には黄灯付浮標を設置する。

海 図 W 1 4 3 5

出 所 蒲郡海上保安署

1 4 年 2 5 2 項 本州南岸 - 渥美湾、東幡豆港付近 環境調査

下記地点で水質調査及び環境生物調査が実施されている。

期 間 平成14年7月12日までの日出～日没

位置 (水質調査) 下記4地点

	[日本測地系]	[世界測地系 WGS-84]
(1)	34-46.9N 137-09.8E	34-47.1N 137-09.6E
(2)	34-46.5N 137-10.1E	34-46.7N 137-09.9E
(3)	34-46.7N 137-09.3E	34-46.9N 137-09.1E
(4)	34-46.2N 137-09.7E	34-46.4N 137-09.5E

(環境生物調査) 下記4地点

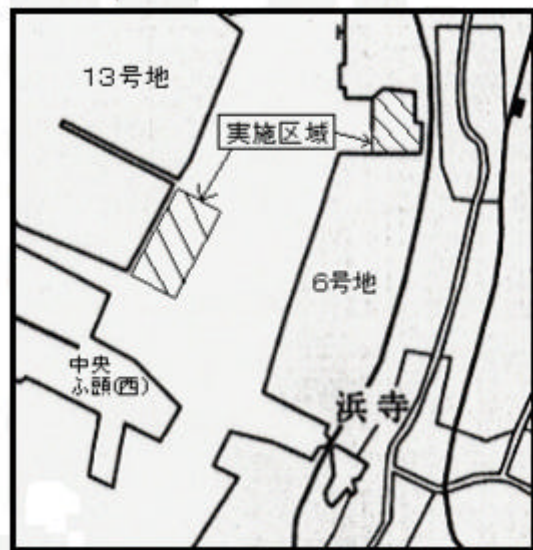
(5)	34-47.0N 137-10.0E	34-47.2N 137-09.8E
(6)	34-46.8N 137-10.0E	34-47.0N 137-09.8E
(7)	34-46.9N 137-09.8E	34-47.1N 137-09.6E
(8)	34-46.5N 137-10.1E	34-46.7N 137-09.9E

海図 W 1 4 3 5
出所 蒲郡海上保安署

14年253項 本州南岸 - 衣浦港 ヨット帆走訓練

下図に示す区域でヨット帆走訓練が実施される。

期間 平成14年4月1日～平成15年3月31日までの昼間
備考 警戒船を配備する。
海図 W 1 0 5 6
出所 衣浦港長



14年254項 本州南岸 - 師崎水道、日間賀島北方 覆砂作業

下記区域で覆砂作業が実施されている。

期間 平成14年6月28日までの日出～日没
区域 下記4地点により囲まれる区域

	[日本測地系]	[世界測地系 WGS-84]
(1)	34-43-19N 137-00-51E	34-43-31N 137-00-40E
(2)	34-42-59N 137-00-51E	34-43-11N 137-00-40E
(3)	34-42-59N 137-01-06E	34-43-11N 137-00-55E
(4)	34-43-19N 137-01-06E	34-43-31N 137-00-55E

標 識 作業区域には黄灯付浮標を設置する。
海 図 W 1 0 5 4 - W 1 0 5 2 - W 1 0 5 3
出 所 衣浦海上保安署

1 4 年 2 5 5 項 本州南岸 - 常滑港付近 航行制限
下記 2 区域で空港島等建設工事に伴い船舶の航行が制限される。

期 間 平成14年4月1日～平成15年4月30日

区 域 1 下記17地点を結ぶ線により囲まれる海域

[日本測地系]

[世界測地系 WGS-84]

- | | | | | |
|------|-------------|--------------|-------------|--------------|
| (1) | 34-52-18.3N | 136-49-21.7E | 34-52-30.1N | 136-49-11.1E |
| (2) | 34-52-10.9N | 136-49-29.7E | 34-52-22.7N | 136-49-19.1E |
| (3) | 34-52-04.1N | 136-49-32.5E | 34-52-15.9N | 136-49-21.9E |
| (4) | 34-51-53.1N | 136-49-40.7E | 34-52-04.9N | 136-49-30.1E |
| (5) | 34-51-38.6N | 136-49-49.9E | 34-51-50.4N | 136-49-39.3E |
| (6) | 34-51-24.6N | 136-49-53.7E | 34-51-36.4N | 136-49-43.1E |
| (7) | 34-51-05.6N | 136-49-55.5E | 34-51-17.4N | 136-49-44.9E |
| (8) | 34-50-01.1N | 136-49-09.9E | 34-50-12.9N | 136-48-59.3E |
| (9) | 34-49-58.7N | 136-49-08.7E | 34-50-10.5N | 136-48-58.1E |
| (10) | 34-49-50.9N | 136-48-22.8E | 34-50-02.7N | 136-48-12.2E |
| (11) | 34-52-37.9N | 136-47-43.8E | 34-52-49.6N | 136-47-33.2E |
| (12) | 34-52-44.7N | 136-48-21.8E | 34-52-56.4N | 136-48-11.2E |
| (13) | 34-52-42.9N | 136-48-22.3E | 34-52-54.6N | 136-48-11.7E |
| (14) | 34-52-24.6N | 136-48-47.5E | 34-52-36.4N | 136-48-36.9E |
| (15) | 34-52-33.0N | 136-48-58.4E | 34-52-44.8N | 136-48-47.8E |
| (16) | 34-52-25.5N | 136-49-11.5E | 34-52-37.3N | 136-49-00.9E |
| (17) | 34-52-19.5N | 136-49-18.1E | 34-52-31.3N | 136-49-07.5E |

2 常滑港南防波堤灯台(34-52-42N 136-50-11E世界測地系 WGS-84)を中心とする半径1,000mの円弧のうち同灯台から、それぞれ208度及び326度に引いた線以西の部分、次に掲げる地点を順に結んだ線並びに陸岸により囲まれた海域

- | | | | | |
|------|-------------|--------------|-------------|--------------|
| (18) | 34-52-02.2N | 136-50-00.7E | 34-52-14.0N | 136-49-50.1E |
| (19) | 34-51-50.5N | 136-49-53.9E | 34-52-02.3N | 136-49-43.3E |
| (20) | 34-51-55.7N | 136-49-45.5E | 34-52-07.5N | 136-49-34.9E |
| (21) | 34-52-06.5N | 136-49-36.2E | 34-52-18.3N | 136-49-25.6E |
| (22) | 34-52-12.1N | 136-49-31.2E | 34-52-23.9N | 136-49-20.6E |
| (23) | 34-52-19.7N | 136-49-23.6E | 34-52-31.5N | 136-49-13.0E |
| (24) | 34-52-23.9N | 136-49-24.8E | 34-52-35.7N | 136-49-14.2E |
| (25) | 34-52-30.0N | 136-49-22.7E | 34-52-41.8N | 136-49-12.1E |
| (26) | 34-52-44.9N | 136-49-18.2E | 34-52-56.6N | 136-49-07.6E |
| (27) | 34-53-13.5N | 136-49-58.1E | 34-53-25.2N | 136-49-47.5E |

備 考 (1)区域内において空港島等建設のため、各種工事が実施される。
(2)建設工事に従事する船舶及び海上保安庁長官の認めた船舶を除く。

海 図 W 9 5 - W 1 0 5 1

出 所 海上保安庁告示第74号

14年256項 本州南岸 - 常滑港 航泊禁止

中部国際空港対岸部地域開発用地建設工事に伴い、航泊禁止区域が設定される。

期間 平成14年4月1日～平成15年4月30日

区域 常滑港南防波堤灯台(34-52-42N 136-50-11E世界測地系WGS-84)を中心とする半径1,000mの円弧のうち、次の各点を順に結ぶ線から以北の陸岸により囲まれる海域

[日本測地系]

[世界測地系 WGS-84]

- | | | | | |
|-----|-------------|--------------|-------------|--------------|
| (1) | 34-52-29.9N | 136-50-16.6E | 34-52-41.7N | 136-50-06.0E |
| (2) | 34-52-26.4N | 136-50-17.1E | 34-52-38.2N | 136-50-06.5E |
| (3) | 34-52-01.5N | 136-50-02.7E | 34-52-13.3N | 136-49-52.1E |

標識 禁止区域の(2)地点と(3)地点を結ぶ線上に灯浮標が設置される。

備考 付近海域に警戒船を配備する。

海図 5650-67-W95

出所 名古屋海上保安部長公示第14-1号

14年257項 名古屋港 - 東航路 掘下げ作業

下記区域で浚渫船「清瀧丸」による掘下げ作業が実施される。

期間 平成14年4月1日～平成15年3月31日まで

(原則として毎週月曜日0900～金曜日1600までの昼夜間)

区域 下記12地点により囲まれる区域

[日本測地系]

[世界測地系 WGS-84]

- | | | | | |
|------|-------------|--------------|-------------|--------------|
| (1) | 34-57-39.9N | 136-48-05.3E | 34-57-51.6N | 136-47-54.7E |
| (2) | 35-00-36.9N | 136-50-28.6E | 35-00-48.6N | 136-50-17.9E |
| (3) | 35-00-41.0N | 136-50-21.2E | 35-00-52.7N | 136-50-10.5E |
| (4) | 35-00-47.8N | 136-50-26.7E | 35-00-59.5N | 136-50-16.0E |
| (5) | 35-01-11.4N | 136-50-30.9E | 35-01-23.1N | 136-50-20.2E |
| (6) | 35-01-10.3N | 136-50-24.2E | 35-01-22.0N | 136-50-13.5E |
| (7) | 35-01-24.8N | 136-50-30.1E | 35-01-36.5N | 136-50-19.4E |
| (8) | 35-01-25.5N | 136-50-33.4E | 35-01-37.2N | 136-50-22.7E |
| (9) | 35-01-33.5N | 136-50-34.8E | 35-01-45.2N | 136-50-24.1E |
| (10) | 35-01-39.5N | 136-50-56.1E | 35-01-51.2N | 136-50-45.4E |
| (11) | 35-01-13.0N | 136-51-07.2E | 35-01-24.7N | 136-50-56.5E |
| (12) | 34-57-36.2N | 136-48-11.9E | 34-57-47.9N | 136-48-01.3E |

海図 W1055A-W1055B

出所 名古屋港長

14年258項 名古屋港 - 第1区 航泊禁止

ガーデンふ頭前面海域でヨットレース開催に伴い、航泊禁止区域が設定される。

期間 平成14年4月21日の0930～1600

区域 下記4地点により囲まれる区域

[日本測地系]

[世界測地系 WGS-84]

- | | | | | |
|-----|-------------|--------------|-------------|--------------|
| (1) | 35-05-01.1N | 136-53-13.0E | 35-05-12.8N | 136-53-02.3E |
| (2) | 35-04-38.6N | 136-53-16.0E | 35-04-50.3N | 136-53-05.3E |
| (3) | 35-04-31.7N | 136-53-07.6E | 35-04-43.4N | 136-52-56.9E |
| (4) | 35-04-31.7N | 136-52-40.0E | 35-04-43.4N | 136-52-29.3E |
| (5) | 35-04-43.2N | 136-52-26.0E | 35-04-54.9N | 136-52-15.3E |

(6) 35-05-08.1N 136-52-51.4E 35-05-19.8N 136-52-40.7E
標 識 禁止区域には黄灯付浮標が設置される。
備 考 警戒船を配備する。
海 図 W 1 0 5 5 A
出 所 名古屋港長公示第 1 4 - 8 号

1 4 年 2 5 9 項 名古屋港 - 第1区 ヨットセーリング訓練等
ガーデンふ頭沖でディンギーヨットによるセーリング訓練等が実施される。
期 間 平成14年4月13日, 14日, 21日, 28日の1000~1630
平成14年5月12日, 19日, 25日, 26日の1000~1630
平成14年6月 9日, 16日, 23日, 30日の1000~1630
平成14年7月 7日, 13日, 21日, 28日の1000~1630
平成14年8月 4日, 11日, 18日, 25日の1000~1630
平成14年9月 1日, 8日, 15日, 22日の1000~1630
区 域 下記4地点を結ぶ線により囲まれる区域
[日本測地系] [世界測地系 WGS-84]
(1) 35-05-02N 136-53-10E 35-05-14N 136-52-59E
(2) 35-04-39N 136-52-54E 35-04-51N 136-52-43E
(3) 35-04-47N 136-52-38E 35-04-59N 136-52-27E
(4) 35-05-03N 136-52-55E 35-05-15N 136-52-44E
標 識 訓練海域に三角錐ブイを設置する。
備 考 警戒船を配備する。
海 図 W 1 0 5 5 A
出 所 名古屋港長

1 4 年 2 6 0 項 名古屋港 - 第4区 水路測量
下記区域で水路測量が実施される。
期 間 平成14年4月5日~19日までの日出~日没
区 域 下記4地点により囲まれる区域
[日本測地系] [世界測地系 WGS-84]
(1) 35-01-08.1N 136-50-08.0E 35-01-19.8N 136-49-57.3E
(2) 35-00-56.2N 136-50-11.3E 35-01-07.9N 136-50-00.6E
(3) 35-00-55.2N 136-50-05.8E 35-01-06.9N 136-49-55.1E
(4) 35-01-07.2N 136-50-02.6E 35-01-18.9N 136-49-51.9E
標 識 作業船は赤白の旗を掲げる。
海 図 W 1 0 5 5 A
出 所 名古屋港長

1 4 年 2 6 1 項 名古屋港 - 第5区 起重機船作業
下記地点付近で起重機船による石油プラントの水切り作業が実施される。
期 間 平成14年4月12日~15日まで(予備日2月16日~21日)の日出~日没
位 置 下記地点付近
[日本測地系] [世界測地系 WGS-84]
(1) 34-58-31.3N 136-50-03.2E 34-58-43.0N 136-49-52.5E
(2) 34-58-38.6N 136-50-08.3E 34-58-50.3N 136-49-57.6E

(3) 34-58-34.4N 136-50-17.2E 34-58-46.1N 136-50-06.5E
 (4) 34-58-27.1N 136-50-12.1E 34-58-38.8N 136-50-01.4E
 備考 警戒船を配備する。
 海図 W1055B
 出所 名古屋港長

14年262項 本州南岸 - 四日市港、第3区 掘下げ作業等
 霞ヶ浦南ふ頭前面海域で掘下げ作業及び揚土作業が実施される。

期間 平成14年4月5日～8月15日までの日出～日没

区域 1 (掘下げ作業区域) 下記3地点により囲まれる区域

[日本測地系]

[世界測地系 WGS-84]

- (1) 34-59-37.8N 136-40-13.9E 34-59-49.5N 136-40-03.3E
 (2) 34-59-26.0N 136-40-07.2E 34-59-37.7N 136-39-56.6E
 (3) 34-59-29.2N 136-39-59.0E 34-59-40.9N 136-39-48.4E

2 (掘下げ作業区域) 下記4地点を結ぶ線及び陸岸により囲まれる区域

- (4) 34-59-15.0N 136-40-18.4E 34-59-26.7N 136-40-07.8E
 (5) 34-59-19.5N 136-40-20.7E 34-59-31.2N 136-40-10.1E
 (6) 34-59-10.9N 136-40-43.0E 34-59-22.6N 136-40-32.4E
 (7) 34-59-06.4N 136-40-40.7E 34-59-18.1N 136-40-30.1E

3 (揚土作業区域) 下記4地点により囲まれる区域

- (8) 34-59-52.9N 136-40-40.0E 35-00-04.6N 136-40-29.4E
 (9) 34-59-50.2N 136-40-47.1E 35-00-01.9N 136-40-36.5E
 (10) 34-59-42.8N 136-40-42.9E 34-59-54.5N 136-40-32.3E
 (11) 34-59-45.5N 136-40-35.8E 34-59-57.2N 136-40-25.2E

備考 警戒船を配備する。
 海図 W94
 出所 四日市港長

14年263項 伊勢湾 - 答志島、舟越漁港 岸壁築造工事

下記区域で岸壁築造工事が実施される。

期間 平成13年3月27日～8月26日までの0730～1700

区域 下記位置を中心とする半径100mの円内

[日本測地系]

[世界測地系 WGS-84]

- (1) 34-31-36N 136-53-17E 34-31-48N 136-53-06E

標識 作業区域に赤旗を設置する。

備考 (1)潜水作業を伴う。
 (2)警戒船を配備する。

海図 W73

出所 鳥羽海上保安部

14年264項 伊勢湾 - 答志島東方 水深減少等

最近の測量によると下記区域は水深減少及び浅所が存在する。

区域 1 下記4地点により囲まれる区域は海図図載水深より最大で20.8m減少している。

[日本測地系]

[世界測地系 WGS-84]

- (1) 34-32-41N 136-56-48E 34-32-53N 136-56-37E

- | | | | | | |
|-----|-----------|------------|-----------|------------|--|
| (2) | 34-32-29N | 136-56-43E | 34-32-41N | 136-56-32E | |
| (3) | 34-32-24N | 136-56-24E | 34-32-36N | 136-56-13E | |
| (4) | 34-32-49N | 136-56-36E | 34-33-01N | 136-56-25E | |
- 2 下記4地点により囲まれる区域は海図図載水深より最大で9.3m減少している。
- | | | | | | |
|-----|-----------|------------|-----------|------------|--|
| (5) | 34-32-04N | 136-55-50E | 34-32-16N | 136-55-39E | |
| (6) | 34-32-01N | 136-55-50E | 34-32-13N | 136-55-39E | |
| (7) | 34-31-48N | 136-55-08E | 34-32-00N | 136-54-57E | |
| (8) | 34-32-14N | 136-55-07E | 34-32-26N | 136-54-56E | |
- 3 下記2地点を結ぶ線上付近は海図図載水深より最大で31.7m減少している。
- | | | | | | |
|------|-----------|------------|-----------|------------|--|
| (9) | 34-31-31N | 136-55-59E | 34-31-43N | 136-55-48E | |
| (10) | 34-31-27N | 136-55-24E | 34-31-39N | 136-55-13E | |
- 4 下記位置を中心とする半径530mの円内は海図図載水深より最大で15.4m減少している。
- | | | | | | |
|------|-----------|------------|-----------|------------|--|
| (11) | 34-31-15N | 136-55-24E | 34-31-27N | 136-55-13E | |
|------|-----------|------------|-----------|------------|--|
- 5 下記地点に浅所が存在する
- | | | | | | |
|------|-----------|------------|-----------|------------|-----------|
| (12) | 34-32-17N | 136-55-54E | 34-32-29N | 136-55-43E | 水深
13m |
|------|-----------|------------|-----------|------------|-----------|

海 図 W 7 3 - W 1 0 5 3 - W 1 0 5 1
出 所 四本部水路部

14年265項 本州南岸 - 伊良湖水道 至 菅島 水深減少等

最近の測量によると下記区域は水深減少及び浅所が存在する。

- 区 域 1 下記5地点に浅所が存在する。
- | | [日本測地系] | | [世界測地系 WGS-84] | | 水深 |
|-----|-----------|------------|----------------|------------|-------|
| (1) | 34-32-07N | 136-58-16E | 34-32-19N | 136-58-05E | 8.8m |
| (2) | 34-31-57N | 136-58-13E | 34-32-09N | 136-58-02E | 12.3m |
| (3) | 34-31-22N | 136-58-06E | 34-31-34N | 136-57-55E | 14.7m |
| (4) | 34-29-27N | 136-55-17E | 34-29-39N | 136-55-06E | 19.7m |
- 2 下記位置を中心とする半径220mの円内は海図図載水深より最大で8.6m減少している。
- | | | | | | |
|-----|-----------|------------|-----------|------------|--|
| (5) | 34-31-41N | 136-57-59E | 34-31-53N | 136-57-48E | |
|-----|-----------|------------|-----------|------------|--|
- 3 下記5地点により囲まれる区域は海図図載水深より最大で16.2m減少している。
- | | | | | | |
|------|-----------|------------|-----------|------------|--|
| (6) | 34-31-30N | 136-57-41E | 34-31-42N | 136-57-30E | |
| (7) | 34-31-18N | 136-57-37E | 34-31-30N | 136-57-26E | |
| (8) | 34-30-46N | 136-56-58E | 34-30-58N | 136-56-47E | |
| (9) | 34-31-07N | 136-56-55E | 34-31-19N | 136-56-44E | |
| (10) | 34-31-34N | 136-57-30E | 34-31-46N | 136-57-19E | |
- 4 下記2地点を結ぶ線上付近は海図図載水深より最大で7.1m減少している。
- | | | | | | |
|------|-----------|------------|-----------|------------|--|
| (11) | 34-30-49N | 136-57-02E | 34-31-01N | 136-56-51E | |
| (12) | 34-30-36N | 136-57-11E | 34-30-48N | 136-57-00E | |
- 5 下記6地点により囲まれる区域は海図図載水深より最大で10.6m減少している。
- | | | | | | |
|------|-----------|------------|-----------|------------|--|
| (13) | 34-30-42N | 136-56-46E | 34-30-54N | 136-56-35E | |
| (14) | 34-30-22N | 136-56-29E | 34-30-34N | 136-56-18E | |
| (15) | 34-30-17N | 136-56-05E | 34-30-29N | 136-55-54E | |
| (16) | 34-30-31N | 136-56-14E | 34-30-43N | 136-56-03E | |
| (17) | 34-30-44N | 136-56-28E | 34-30-56N | 136-56-17E | |
| (18) | 34-30-46N | 136-56-43E | 34-30-58N | 136-56-32E | |

- 6 下記位置を中心とする半径700mの円内は海図図載水深より最大で28m減少している。
 (19) 34-30-09N 136-55-25E 34-30-21N 136-55-14E
- 7 下記位置を中心とする半径140mの円内は海図図載水深より最大で2.6m減少している。
 (20) 34-29-27N 136-55-05E 34-29-39N 136-54-54E

海 図 W 7 3 - W 1 0 5 3 - W 1 0 5 1
 出 所 四本部水路部

14年266項 本州南岸 - 鳥羽港 護岸改修工事期間延長
 (四管区水路通報 14年 5号 111項 削除)

下記区域の護岸改修工事は期間を延長して実施されている。

期 間 平成14年9月24日まで

区 域 下記位置を中心とする半径120mの円内

[日本測地系]

[世界測地系 WGS-84]

(1) 34-28-54.8N 136-50-54.7E 34-29-06.7N 136-50-44.1E

海 図 W 7 3

出 所 鳥羽海上保安部

14年267項 本州南岸 - 鳥羽港 小型船舶操縦訓練

下図に示す区域で小型船舶操縦訓練が実施されている。

期 間 平成14年4月8日までの0900～1630

標 識 訓練区域にオレンジ色ブイを3基設置する。

海 図 W 7 3

出 所 鳥羽海上保安部



14年268項 本州南岸 - 的矢港 起重機船作業

下記区域で起重機船による荷下ろし作業が実施されている。

期 間 平成14年9月3日までの0800～1700

区 域 下記位置を中心とする半径200mの円内

[日本測地系]

[世界測地系 WGS-84]

(1) 34-21-39N 136-52-53E 34-21-51N 136-52-42E

備 考 警戒船を配備する。

海 図 W 7 3
出 所 鳥羽海上保安部

1 4 年 2 6 9 項 本州南岸 - 布施田水道、和具漁港南方 魚礁設置
(四管区水路通報 14年 6号 133項 削除)

下記区域に魚礁が設置された。

区 域 下記位置を中心とする半径50mの円内
[日本測地系] [世界測地系 WGS-84]
(1) 34-13-50N 136-48-37E 34-14-02N 136-48-26E

海 図 W 1 0 9 0
出 所 鳥羽海上保安部

1 4 年 2 7 0 項 本州南岸 - 布施田水道、和具漁港 防波堤改修工事

下記区域で防波堤改修工事が実施される。

期 間 平成14年4月1日～10月31日までの0730～1630

区 域 下記位置を中心とする半径30mの円内
[日本測地系] [世界測地系 WGS-84]
(1) 34-14-46N 136-48-27E 34-14-58N 136-48-16E

標 識 下記区域に赤旗付竹竿を設置する。

備 考 (1)潜水作業を伴う。
(2)警戒船を配備する。

海 図 W 1 0 9 0
出 所 鳥羽海上保安部

1 4 年 2 7 1 項 本州南岸 - 布施田水道、和具漁港 防波堤改修工事

下記区域で防波堤改修工事が実施される。

期 間 平成14年3月28日～6月17日までの0730～1700

区 域 下記位置を中心とする半径100mの円内
[日本測地系] [世界測地系 WGS-84]
(1) 34-14-52.5N 136-48-20.0E 34-15-04.5N 136-48-09.4E

標 識 作業区域に赤旗付竹竿を設置する。

備 考 警戒船を配備する。

海 図 W 1 0 9 0
出 所 鳥羽海上保安部

1 4 年 2 7 2 項 本州南岸 - 英虞湾 環境調査

次頁に示す区域で底質採取調査が実施されている。

期 間 平成14年4月30日(内3日間)までの0700～1700

備 考 潜水作業を伴う。

海 図 W 7 8

出 所 鳥羽海上保安部



14年273項 日本周辺 - 海図記載の測地系に関する記事について
海図図郭内又は図郭外に記載されている下記の注意記事は、4月1日をもって無効となる。

注 意

我が国の法令に記載された経緯度及び日本測地系による経緯度を本図に記入する場合は、北に X'.XX、西に X'.XX移動しなければならない。

N o t e

Positions written in Japanese domestic laws or positions referring to Tokyo Datum must be moved *.* minutes NORTHWARD and *.* minutes WESTWARD to agree with this chart.

海 図 W、FW海図
出 所 海上保安庁水路部

「四管区水路通報」に関する問い合わせ先

第四管区海上保安本部 水路部 監理課 図誌係

〒455-8528 名古屋市港区入船2-3-12

名古屋港湾合同庁舎(6階)

TEL 052-6614611(内線315)

FAX 052654-2536(FAXサービス兼用)

E-mail zushi4@cue.jhd.go.jp

第四管区海上保安本部水路部インターネットアドレス

<http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN4/index.htm>

海上保安庁水路部インターネットアドレス

<http://www1.kaiho.mlit.go.jp/>

また、FAXによるポーリングサービスも行っています。

FAX番号は『052-654-2536』です。

なお、IDコードやパスワードは設定していません。

(ポーリング受信のモードで、上記番号にアクセスします。機種によってはパスワードの入力を求められますが、その際は適当な4桁の数を入力します。)

インターネットによる航行警報の提供について

インターネットにより、航行警報（NAVAREA XI 航行警報、NAVTEX 航行警報、日本航行警報、管区（部署）

航行警報）を提供しています。

また、携帯電話（iモード、EZ-ウェブ、J-SKY ウェブ）へのサービスとして、NAVTEX 航行警報、管区（部署）航行警報のうち、沿岸海域（約50キロメートル以内）を設け提供しています。

航行警報アドレス <http://www1.kaiho.mlit.go.jp/TUHO/nwj.html>

携帯電話用アドレス

iモード対応機種 <http://www1.kaiho.mlit.go.jp/keitai/TUHO/keiho/>

EZ-ウェブ対応機種 <http://www1.kaiho.mlit.go.jp/TUHO/keiho/ez/>

J-SKY ウェブ対応機種 <http://www1.kaiho.mlit.go.jp/TUHO/keiho/js/>

日本測地系と世界測地系の経緯度変換について

「測量法及び水路業務法の一部を改正する法律」(平成13年6月20日公布)の施行により経緯度の基準が4月1日以降、世界標準である世界測地系に変更されます。

海上保安庁では、海事関係者等皆様の便宜を図るため、経緯度数値を世界測地系に変換するコンピュータプログラムをインターネット上で公開しました。

変換プログラムは、海域について日本測地系と世界測地系(WGS84)の経緯度数値を相互に変換できるようになっておりますので、海域で経緯度数値を利用している方々で現在の経緯度数値を世界測地系に基づく経緯度数値に変更する場合などに本プログラムをご利用下さい。

インターネットアドレス：<http://www1.kaiho.mlit.go.jp/>

世界測地系への移行及び日本測地系海図の廃版について

1 平成14年3月までは・・・

- ・我が国の海図のうち、日本及びその周辺海域の海図については、従来は日本測地系で刊行されていましたが、平成12年4月からは世界測地系で刊行しており、平成14年3月末までに、全て世界測地系海図へ移行されます。
- ・日本測地系海図によるものと世界測地系海図による海図が混在しますので、使用に際しては海図に使われている測地系とGPS等の測位システムの測地系を一致させるなど十分注意されるようお願いいたします。
- ・従来の日本測地系海図は、平成13年10月から段階的に廃版され、平成14年3月末までに全て廃版となります。
- ・水路通報及び航行警報の位置表示は、日本及びその周辺海域については原則として日本測地系と世界測地系を併記することとしています。ただし、入手情報のうち測地系が明らかでない場合、また緊急に知らせる必要がある漂流物等については、「測地系不明」として提供する場合があります。

2 平成14年4月以降は・・・

- ・緯度・経度は世界測地系に統一され、日本測地系海図は、全て使えなくなります。
- ・水路通報・航行警報の位置表示は、世界測地系のみになります。

このため、

下図の日本測地系海図の廃版予定及び「水路図誌目録」(平成13年7月刊行、同14年3月改版予定)を参照のうえ、早期に世界測地系海図の使用に移行されるようお願いいたします。

世界測地系海図の刊行及び日本測地系海図の廃版の詳細については、別途毎週の水路通報などでお知らせすることとしています。

廃版予定海域及び時期

時期 平成13年10月～11月

東京湾
伊勢湾及び付近
大阪湾及び紀伊水道
瀬戸内海
本州南岸
四国南岸

時期 平成13年11月～14年3月

九州沿岸
本州北西岸

時期 平成13年12月～14年3月

北海道沿岸

時期 平成14年1月～2月

本州東岸

時期 平成14年1月～3月

南方・南西諸島

(注) 以上の他、番号5000台の海図及び一部の海図の中には廃版されていないものもありますので、詳細は水路図誌目録を参照して下さい。

